



地区青少年活動委員会

委員長

陶 柳之介

(箕面RC)

RYLAとはRotary Youth Leadership Awardの頭文字を取ったもので、日本では青少年指導者養成プログラムと訳されており、14歳から30歳までの青年男女を対象にロータリーが開発した、集中研修プログラムです。

歴史的に見ますと、1949年米国カリフォルニア州で指導者キャンプ方式として、また、1959年にオーストラリア・ブリスベンでセミナー方式として始まっています。そして1971年にR I 理事会は青少年活動プログラムの一つとしてRYLAを採択しました。

日本では1976年、当時の第266地区（現2640・2660）において、5月に開催されています。現在は秋と春の2回の初級ライラと、1回の上級ライラを当地区で行っています。この上級ライラの修了者をライラリアンと呼び、国際ライラへの派遣や初級ライラ等でリーダーとしての実修、経験を積むことで、より高度な指導者となり、地域への貢献に励んでいます。

そして1999年～2000年度にこのライラリアン達を組織化しようとしたのがチームライラです。

現在、彼等は秋春の初級、上級ライラのプログラムの立案やライラ開催中のプログラムリーダーとして、ホストクラブや関係団体、地区青少年活動委員会等と打ち合わせ等を含め、より良いライラを目指し、努力しています。彼等には、RC個別の青少年活動や卓話、他地区のライラへの交流参加、他国RCとのライラ交流を行うことが認められています。

ぜひ皆さんのクラブで青少年活動を行う時は、彼等をお呼びください。きっと良い結果が残せると思います。

彼等を育てるのは、ロータリアンの皆さんです。

これからもライラ及びチームライラへのご理解、育成にご協力くださるよう、お願い致します。